



第7回定期大会開催!

**民主的労働運動を次代に引き継ぐため
変革を巻き起こし、組織拡大に全力で取り組もう!**

7月3日、中央本部は「第7回定期大会」を都内田町交通ビルに於いて開催し、大会構成員、来賓、傍聴を含め約60名が参加した。大会議長には、瀬藤代議員（新潟）が選出され、真摯な討議により、提起された令和元年度運動方針などの各議案、大会スローガン、大会宣言は満場一致で採択され、大会は成功裡に終了した。



菅野執行委員長

次のステージへと駆け上がるための重要な大会!

菅野執行委員長は冒頭の挨拶で組織問題に触れ、「私たちの運動は決して悪いことではなかった。歴史が証明している。私たちの考え方は30年前からの警鐘であったかもしれないが、次のステージへと駆け上がるための結集軸となるのが私たちである。すべての行動を組織拡大につなぎ合わせ実践することを全組合員で確認し進んで行こう。」と述べ、また、「本大会には、若い組合員も参加している。組織の将来に向けて再発信するための重要な大会となる。」と訴えた。

新事務局長に、菅井正和氏を選任! & 若手中堅組合員4名も執行部へ!

質疑では13名の代議員から発言があり、組織拡大へ向けた決意、変革2027を踏まえた多くの施策提案に対する職場の現状などの多くの意見が出され、国井事務局長の総括答弁の後、各議案は満場一致で承認された。また、役員改選では、菅井正和 新事務局長（東京）が選任されたほか、執行委員には、4名の中堅組合員が新任となり、まさに、新たなステージを迎えた重要な大会となった。大会の締めくくりは、菅野執行委員長の団結ガンパローで、全組合員が心をひとつに、前に向かう決意を新たにした。

総力を上げた運動の展開で、組織の躍進に結実しよう!